

病院の現状は。

入院、外来ともに患者数は大幅に減少し、医業収益は前年比2億3,300万円、5%のマイナスだが、全国的な傾向である。要因は、受診控えや消毒・手洗いの徹底でコロナ以外の感染症の患者数が減っている。また、消防署の救急車出動件数の減にも現れ、外出自粛で転倒等の事故が減少している。コロナへの対応は、令和2年2月以降、準備を進め災害時と同様に対策本部を立ち上げ、検査や外来、入院診療を行い感染対策の取り組みを進めた。プレハブの診療室の整備、受入れ病棟の改修、人工呼吸器等備品整備を進め、費用総額は減少しているが感染対策分は増額となっている。昨年4月から、受入れ病棟や発熱外来診療体制の確保等で国、県から約2億7,000万円の補助金が交付された結果、医業収益は減収したが、純損失は約1,200万円となり、前年比で1億200万円程度改善した。

審査 ピックアップ 議案 第47号

菊川市一般会計補正予算(第5号)

令和3年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについて議論しました。

審査において こんな質問がされました

ⓐ 土地改良施設維持補修工事費の内訳と盗難蓋の枚数は。また、市道と農道で鋼製溝蓋に差異はあるか。再発防止策は。

ⓐ 補修工事は、吉沢地内の県道から茶畑へ上がる道で発生したコンクリート舗装下の空隙箇所の応急工事である。溝蓋の盗難は、本年4・5月に鋼製溝蓋やグレーチングなど、121枚の被害のうち、土地改良修繕工事は42枚。道路側溝に設置されている鋼製蓋は材質などに差異はないが、農道は大型車の通行や交通量も少ないため、市道に比べ低規格の蓋を設置している。再発防止策は、蓋の結束は通行

車両のスリップや水路清掃時に蓋が取り外しにくいなど管理面の問題がある。菊川市の名前入り蓋は、犯人検挙につながる可能性があるため今後検討していく。

ⓐ 不法投棄ごみの種類や量は。また、不法投棄防止の監視カメラ等の設置は。

ⓐ 不法投棄として扱っているものは3種類。公共の場所や個人の土地などに捨てられている一般的な不法投棄ごみと呼ばれるもの。道路沿いや道路脇の茂みや水路、公民館や空き地など様々な場所に捨てられているごみ。その他に赤土リサイクルステーションの目立たない場所に捨てられているごみも不法投棄ごみと

して扱う。不法投棄の件数は、8月末で通報が49件、そのうちごみを回収したものは42件、収集量は426キロであった。その他に、自治会の分別収集に出されたりサイクル対象外品と、衣類の拠点回収に出されたりサイクルできないものなどがある。監視カメラは、市の環境衛生自治推進協議会で7台所有している。カメラの設置は、貸出期間を1か月として貸出をしているがほぼ貸出中といった状況であるため、自治会の皆さんと協力して抑止目的の看板設置などの対策を進めている。

ⓐ 市民税業務費において、申告納税相談・事前予約関係の補正予算要求があるが、e-Taxの普及を進めるほうが得策ではないか。

ⓐ e-Taxは行政にとっても、申告者にとっても負担の軽減や利便性の向上につながるため普及を図っていく。利用できる環境が整っていない方や高齢の方などは、電子申請の手続きがスムーズにできないため、市の申告納税相談も並行して実施していく。